

京都から全国へ for Low-carbon society and Resilience from KYOTO

物流のグリーン化および
エネルギーセキュリティの切り札

—— 京都物流グリーン化プロジェクト ——

天然ガストラック普及戦略 京都シンポジウム

日時：2014年3月5日（水）

第I部

天然ガストラック普及推進式典 開催・12時15分～12時45分 / 開場11時30分
[会場] 京都リサーチパーク敷地内

天然ガス トラック 展示会

開催／11時30分～13時00分 [会場] 京都リサーチパーク敷地内

●展示内容(展示協力会社)／大型車(佐川急便・富士運輸・エコトラック)／4T車(日立物流)／2T車(佐川急便・福山通運)

第II部

天然ガストラック普及戦略・京都シンポジウム 開催・13時00分～17時00分 / 開場12時30分
[会場] 京都リサーチパーク4号館 B1F バズホール

バス車展

開催／12時00分～16時00分 [会場] 京都リサーチパーク4号館・B1Fバズホール前
●展示内容／近畿スマートエコ・ロジ協議会の活動紹介コーナー ●天然ガス自動車PRコーナー

主催：近畿スマートエコ・ロジ協議会

共催：国土交通省・京都府・公益社団法人全日本トラック協会・一般社団法人近畿トラック協会・一般社団法人京都府トラック協会・大阪ガス株式会社

後援：天然ガス自動車アカデミー・天然ガス自動車フォーラム・一般社団法人日本ガス協会

第I部 天然ガストラック普及推進式典

開場:11時30分 開催:12時15分 会場:京都リサーチパーク敷地内

「京都物流グリーン化プロジェクト」の趣旨に賛同され、ご参画いただいた企業・団体等の関係者が集結し、天然ガストラックの普及に向けたテープカット等を実施します。式典では、京都でのトラック輸送において天然ガストラックを積極的に導入されている企業のご協力による天然ガストラックの展示も行います。

12時15分	開会の挨拶	京都物流グリーン化プロジェクト部会長 郡 篤 孝 (同志社大学 経済学部 教授) 一般社団法人京都府トラック協会 会長 金井 清治
	来賓の挨拶	国土交通省自動車局 貨物課長 加賀 至
	式典開催式 テープカット (順不同)	京都物流グリーン化プロジェクト部会長 郡 篤 孝 (同志社大学 経済学部 教授) 京都物流グリーン化プロジェクト技術顧問 塩路 昌宏 (京都大学 大学院 エネルギー科学研究科 教授) 一般社団法人京都府トラック協会 会長 金井 清治 国土交通省自動車局 貨物課長 加賀 至 公益社団法人全日本トラック協会 理事長 福本 秀爾 佐川急便(株) 取締役西日本統括 関根 眞二 岡山県貨物運送(株) 取締役相談役 新見 健 福山通運(株) 専務執行役員 近畿統括部長 向井 秀也 (株)日立物流 執行役常務 西日本営業本部長 飯田 邦夫 富士運輸(株) 代表取締役社長 松岡 弘晃 (株)エコトラック 取締役 池田 雅信 国土交通省 近畿運輸局自動車交通 部長 阿部 竜矢 京都府 文化環境部環境・エネルギー 局長 石野 茂 大阪ガス(株) 取締役常務執行役員 京都・滋賀統括地区総支配人 藤田 正樹
12時45分		

敬称略

第II部 天然ガストラック普及戦略・京都シンポジウム

開場:12時30分 開催:13時00分 会場:京都リサーチパーク4号館 B1Fバズホール

天然ガストラックに係わる様々な関係者による講演、パネルディスカッションを行います。前半では、行政の立場から見た天然ガストラックの普及の狙いなどに関する講演と、学識経験者によるナショナルレジリエンス(国土強靱化)やエネルギーセキュリティの観点から見た天然ガストラックの意義などに関する講演を行います。後半では、「京都物流グリーン化プロジェクト」の部会長を務められた郡篤孝同志社大学教授をコーディネーターとして、同プロジェクト参加企業等の皆様によるパネルディスカッションを行います。

13時00分	開会の挨拶	国土交通省 近畿運輸局長 大久保 仁 Hitoshi Okubo 東京大学法学部卒業。1978年運輸省(現国土交通省)入省。中部運輸局自動車部長、大臣官房会計課長、成田国際空港(株)取締役兼常務執行役員等を経て2013年より現職。
		京都府知事 山田 啓二 Keiji Yamada 東京大学法学部卒業。京都府総務部長、副知事を経て2002年より京都府知事。2011年より全国知事会会長。

13時10分

来賓の挨拶
(順不同)

天然ガス自動車アカデミー設立発起人 京都プロジェクト支援・有識者

代表者挨拶 **柏木 孝夫** 東京工業大学 ソリューション研究機構 先進エネルギー国際研究センター長
石田 修一 近畿スマートエコ・ロジ協議会 会長(立命館大学 大学院 テクノロジーマネジメント研究科 教授)
金谷 年展 東京工業大学 ソリューション研究機構 特任教授 **井手 秀樹** 慶應義塾 大学商学部 教授
恩藏 直人 早稲田大学 理事・広報室長 商学学術院教授



Takao Kashiwagi

東京工業大学工学部卒業、博士号取得。2012年4月より現職。内閣府燃料電池評価・助言会議議長、経済産業省の「総合資源エネルギー調査会新エネルギー部会長」、「低炭素社会におけるガス事業のあり方に関する研究会委員長」などを務める。2008年4月文部科学大臣表彰科学技術賞(研究部門)受賞。



Shuichi Ishida

東京工業大学大学院理工学研究科卒業。博士(経営学・工学)。2007年より立命館大学大学院テクノロジー・マネジメント研究科教授。2012年よりケンブリッジ大学生産研究所・客員研究員。



Hideki Ide

1979年神戸大学大学院経済学研究科博士課程修了。三菱総合研究所を経て、96年慶應義塾大学商学部教授、ビジネスブレークスルー大学客員教授。総務省の情報通信審議会、消費者委員会の「公共料金に関する委員会」など、多数の委員を務める。



Naoto Onzo

早稲田大学商学部卒業。博士(商学)。1996年より早稲田大学商学部教授。入学センター長、商学学術院長、商学部長等を経て、2013年より早稲田大学理事(広報、大学院制度、研究推進担当)、広報室長。



Toshinobu Kanaya

東北大学大学院理学研究科博士課程卒業。理学博士。2007年より慶應義塾大学大学院教授。2012年5月より現職。内閣官房「ナショナル・レジリエンス懇談会」委員、環境省「家庭エコ診断推進基盤整備事業検討会」委員などを務める。

天然ガス自動車アカデミーとは

天然ガス自動車をめぐる技術的課題や社会的課題に対し、理論と実践の両面から議論し政策を立案するとともに、その成果を広く社会に発信することを目的として、全国の学識経験者等により2014年2月に結成されました。

基調講演I ～天然ガストラックの普及の意義～

13時25分

講演

国土交通省 自動車局長 **田端 浩**

「H25年度国の重点施策である中距離都市間輸送の低炭素化のために大型天然ガストラックを推進するねらいと、エネルギーセキュリティを目指した輸送用燃料の多様化推進について(仮)」



Hiroshi Tabata

東京大学法学部卒業。1981年運輸省(現国土交通省)入省。外務省在オーストラリア日本国大使館一等書記官、大臣官房人事課長、大臣官房審議官(鉄道担当)、鉄道局次長等を経て2013年より現職。

基調講演II ～天然ガス自動車を取り巻く最新事情～

13時40分

講演

藤井 聡 京都大学 大学院 工学研究科 教授

「国土強靱化施策の展望と課題 物流のレジリエンス化の必要性～天然ガススタンドへの期待～(仮)」



Satoshi Fujii

京都大学土木工学科卒業。京都大学大学院教授並びに同大学レジリエンス研究ユニット長。2012年12月に第二次安倍内閣・内閣官房参与(防災・減災ニューディール担当)に任命される。2007年に文部科学大臣表彰・若手科学者賞受賞。

14時10分

講演

金谷 年展 東京工業大学 ソリューション研究機構 特任教授

「物流部門のエネルギーセキュリティ戦略の必要性について～天然ガストラックへの期待～(仮)」

休憩 14時40分～15時00分

パネルディスカッション

15時00分

開 演

コーディネーター 京都物流グリーン化プロジェクト部会長 郡 篤 孝 (同志社大学 経済学部 教授)

パネリスト (順不同)

京都物流グリーン化プロジェクト技術顧問 塩路 昌宏 (京都大学 大学院 エネルギー科学研究科 教授)

イオングローバルSCM(株) 代表取締役社長 ジェンク グロル

「イオン温暖化防止宣言・環境改善・物流のエネルギーセキュリティに対する天然ガストラックの評価及び今後の展開」

佐川急便(株) 取締役 竹村 章

「今後の天然ガストラック導入への課題と期待について」

いすゞ自動車(株) 執行役員 川幡 進

「大型天然ガストラックの開発および市場投入について(仮)」

(株)カシックス 代表取締役社長・(一社)京都府トラック協会 理事 藤田 周士

「天然ガストラックへの期待と課題について」

国土交通省 近畿運輸局 自動車交通部長 阿部 竜矢

大阪ガス(株) 取締役常務執行役員 エネルギー事業部長 領木 康雄



Takashi Gunjima

同志社大学大学院博士課程経済学研究科卒業。
1984年より同志社大学経済学部教授。公益財団法人
自動車リサイクル促進センター理事長、一般財
団法人 持続性推進機構理事長、現在、その他経済
産業省、環境省、京都府等地方自治体の環境に関す
る委員会の委員を務める。



Masahiro Shioji

京都大学大学院工学研究科卒業。博士(工学)。
1996年より現職。自動車技術会監事、日本機械学
会評議員、日本燃焼学会理事、京都市環境審議会
委員、自動車環境対策協議会長などを務める。



Cenk Gürol

ミドルイーストテクニカル大学工学部、オールド
ドミニオン大学商学部、国際大学国際経営学研究
科(MBAプログラム)卒業。2011年より現職。グ
ループSCM責任者を務める。



Akira Takemura

1981年中京佐川急便(株)入社。2011年佐川急便
株式会社取締役財務経理担当に就任。2014年取締
役総務・CSR推進・財務経理担当、財務経理部長
兼務(現)。



Susumu Kawahata

2004年いすゞ自動車(株)車両設計第二部長、2010
年電装・生産開発執行担当、2011年執行役員、商品
企画統括部、デザインセンター、技術本部開発部門
CV/バス統括CE等を経て現在に至る。



Shuji Fujita

同志社大学経済学部卒業、1982年京都柏木運送株
式会社(現カシックス)入社、1996年より現職、
2009年(一社)京都府トラック協会理事就任。



Tatsuya Abe

東京大学法学部卒業。1993年運輸省(現国土交通省)
入省。四国運輸局企画観光部長、観光庁総務課企画官、
自動車局総務課企画室長等を経て2013年より現職。



Yasuo Ryoki

神戸大学法学部卒業、1979年大阪瓦斯(株)入社。企
画部、原料部長、資源事業部、リビング事業部を経て
2012年より現職。

16時50分

挨 拶

大阪ガス(株) 代表取締役社長 尾崎 裕

「天然ガスの輸送用燃料としての用途拡大について 今後の期待と展望(仮)」



Hiroshi Ozaki

東京大学工学部計数工学科卒業、大阪瓦斯(株)入社。
2002年取締役、2005年常務取締役。
2008年より現職。

16時55分

総 括 ・
閉 会 挨 拶

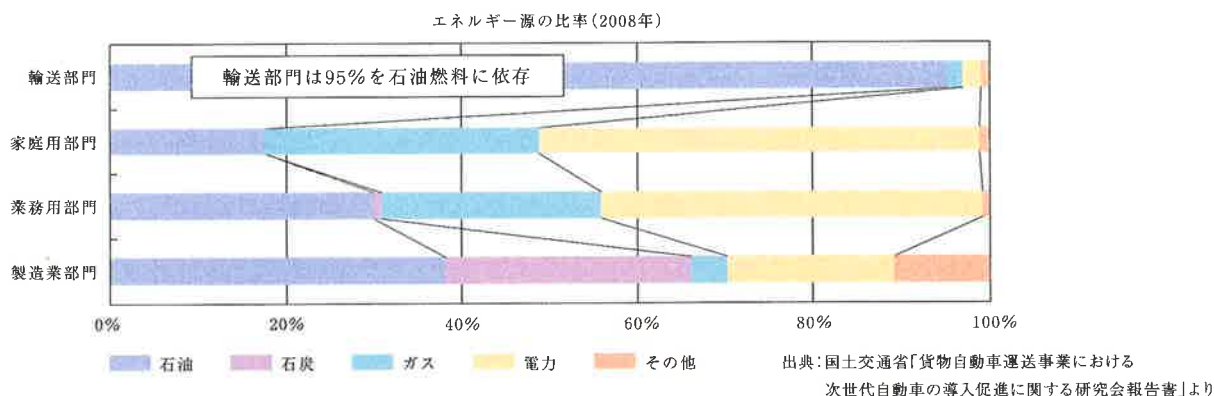
近畿スマートエコ・ロジ協議会 会長 石田 修一 (立命館大学 大学院 テクノロジーマネジメント研究科 教授)

プロジェクトの背景及び目指すべき方向性

背景

輸送部門は、95%が石油燃料に依存しているという中で、事業用トラック総数に占める天然ガストラックの割合は未だに1%未満です。貨物分野からの大幅なCO₂削減等の環境対策を進めるためには天然ガストラックの更なる普及を図ることが必要となります。国においては、大型天然ガストラック及び天然ガススタンド整備に対する支援策(※)を講じるなど、地域内輸送を担う2t/4tトラックの天然ガス化の促進はもとより、大型天然ガストラックによる物流の低炭素化・低コスト化に向けた取組を加速しています。

(※中距離貨物輸送分野の低炭素化に係る課題解決型モデル構築事業)



政府の方向性

「総合物流施策大綱(2013-2017)」(平成25年6月25日閣議決定)に基づき、平成25年9月20日に政府の「総合物流施策推進プログラム」が発表されましたが、この中で、「幹線輸送への大型CNGトラックの導入促進を図ること等により、トラック輸送の省エネ化、低公害化を図る」、「環境対応車の導入支援(幹線輸送への大型CNGトラック導入促進を含む。)により、次世代自動車の普及割合を平成29年度までに17%以上にする」ことが明記されました。

「京都グリーン化プロジェクト」推進の狙い

「京都物流グリーン化プロジェクト」では、天然ガストラック、特に大型天然ガストラックの普及や輸送用燃料の多様化を図るという国の方針、2015年度予定の自動車メーカーによる大型天然ガストラックの国内市場投入などを視野に入れつつ、荷主・物流企業・国・自治体・大学などの産官学関係者が連携することで、京都南部地域にある物流センター、流通施設等への配送トラックの天然ガス化を推進し、同地域を天然ガストラックの普及における先端地域とすることを目指します。関係者一同が、それぞれの立場において「できることからまずやる」という発想に基づき、パートナーシップを構築するとともに、「関係者だけの取組に終わらせない」という意欲のもと、今後の広がりを持った展開を意識しながら各種の取組を行っていきます。



【お問い合わせ先】

近畿スマートエコ・ロジ協議会事務局

近畿運輸局自動車交通部 貨物課 TEL 06-6949-6447 公益財団法人関西交通経済研究センター TEL 06-06-6543-6291

写真提供:富士運輸(株)